

[102] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10165>

出版情報：語文研究. 102, 2006-12-15. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会集報

〔記念講演会〕

方言史と日本語史

——『交隣須知』のことば——

迫野 虔 徳

平成十八年度 九州大学国語国文学総会並びに研究発表会

於 九州大学留学生センター国際ホール

二〇〇六年六月四日(日)

〔研究発表会〕

『新スラブ・日本語辞典』の受身表現

——「ゆる・らゆる」を中心に—— 久 保 蘭 愛

清田儋叟の儒者批判

—— 梁田蛻巖との交流を通して—— 工 藤 俊 玄

江戸前期断本の方法

—— 無邪気さへの笑い—— 琴 栄 辰

〔接吻〕考

—— キリスト教用語としての観点から——

井 料 佐 紀 子

近代語における述部の構造変化と文法化 青 木 博 史

佐賀方言戯作の文末表現 江 口 泰 生

第五十六回西日本国語国文学会

於 山口県立山口図書館、山口県立大学・四号館

二〇〇六年九月十六日(土)・十七日(日)

〔研究発表〕

馬琴と小津桂窓の交流 菱 岡 憲 司

(九州大学関係者のみ)

平成十九年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

平成十九年度九州大学国語国文学会を、平成十九(二〇〇七)年六月三日(日)、九州大学留学生センター国際ホールにて開催いたします。多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、研究発表をご希望の方は、発表題目を平成十九年四

月末日まで九州大学国語国文学会までお申し出ください。
研究発表題目等の詳細につきましては、平成十九年五月中旬
旬にあらためてお知らせいたします。

〒八二二一八五八一 福岡市東区箱崎六―一九―一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax : 〇九二一六四二一―三三九五)

ホームページアドレス

<http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/japano/>

(研究室のアドレスも記していますので、学会関係・
住所変更等の各種連絡にも御利用下さい。)

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に寄稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千元(各号一部配布)、通常会員二千元(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。